



女性部冬期講座

J A女性部の人気恒例行事『冬期講座』が、12月2日の藤里支部を皮きりに開催され、12月から3月まで多種多様な9講座を行い、地域住民および女性部員同士の交流が図られます。

12月2日に行われた第1回目の藤里支部冬期講座には、女性部員約35人が参加し、はじめに藤原支部長が「この冬期講座で皆さんとの交流をさらに深めたいと思います。講座を通して楽しみを分かち合いましょう」とあいさつしました。

その後、女性部員の淡路裕子さん、菊地カヅヨさん、淡路アヤさんが講師となって料理講習会が開催され、麦巻きや山菜の煮付け、こはぜご飯の3品目を作りました。講師からの説明を熱心にメモをする部員もおり、地元につながる郷土料理の作り方を学びました。また、この日は藤里町の地域おこし協力隊の3人の方も参加しており、部員と共に作業に加わっていただきました。

午後からの、地域おこし協力隊との交流会では、協力隊の活動内容や今後の取り組みについて教えてもらいました。協力隊のみなさんは「コーヒーや軽食などを楽しめる移動喫茶店のようなものを作ってみたい」と今後の活動目標について話したほか、女性部員からも要望等がでるなど、和気あいあいとした雰囲気の中で交流会は行われました。



← 郷土料理について理解を深めました

ミニデイサービスを開催

地域貢献活動の一環として、J A助け合い組織「いきいき会」は12月8日に天内会館でミニデイサービスを開催し、地域住民約30人参加のもと、全員で楽しい時間を過ごしました。

はじめに、いきいき会の由利弘子会長が「雪が降り始め、寒くなってきましたが、今日はみなさんで体を動かし、大いに楽しんでください」とあいさつしミニデイが始まりました。

助け合い組織会長の藤田ミヤ子さんが講師を務め、タオル体操で腕を上げたり、足を伸ばしたりと全身のストレッチで体をほぐした後、歌を交えた健康レクリエーションや玉入れなどを行いました。ミニデイの途中には、いきいき会の会員の踊りの披露もあり、会場は笑いに包まれ、参加者たちは楽しく心身をリフレッシュしてもらいました。参加者は「寒くなり体を動かす機会の無い中、こういう会を開いてもらいとても楽しかったです。たくさんの人とも話すことができたのも良かったです」と話してくれました。

